



ほかにはない
アンサーを。

2017年9月期 決算説明資料

2017年11月13日
オリックス銀行

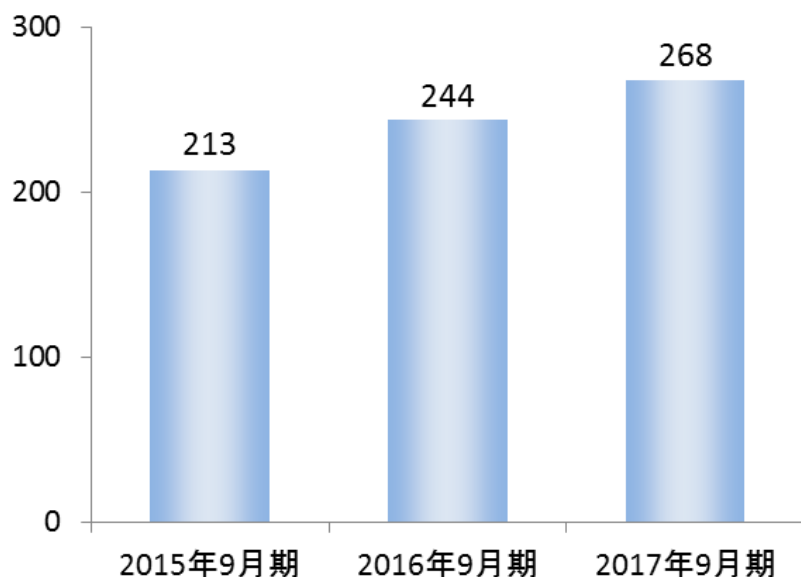
※計数は、単位未満を切り捨てのうえ、
表示しています。

損益の状況

- 経常収益・当期純利益ともに最高益を更新。
- 当期純利益は前年同期比37%増となる大幅増益。

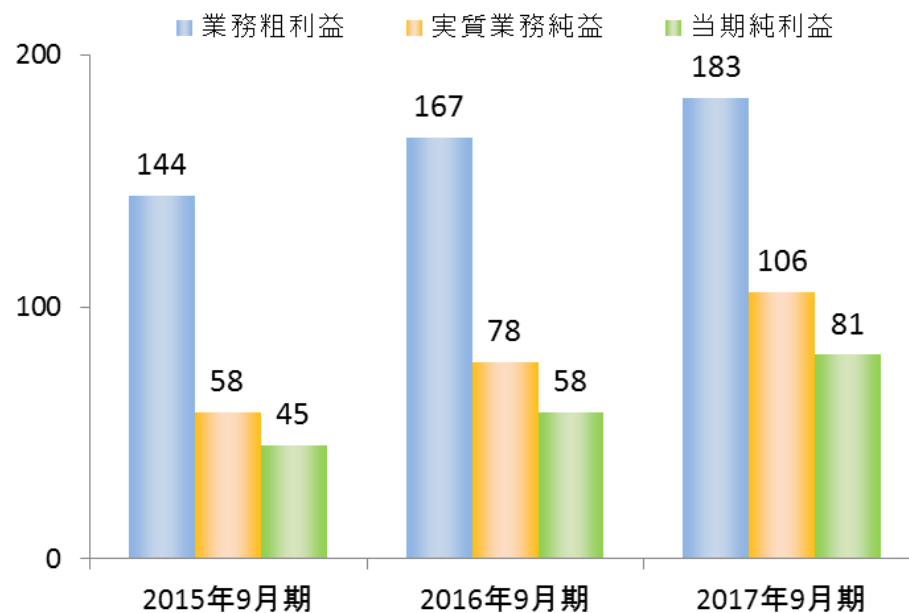
経常収益

(単位:億円)



業務粗利益・実質業務純益・当期純利益

(単位:億円)



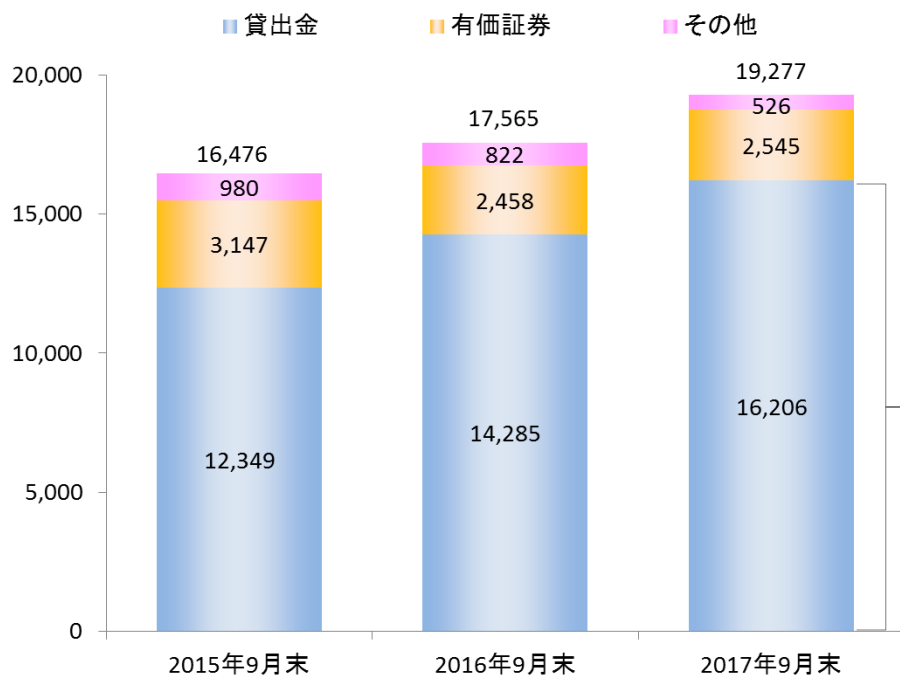
貸出金の状況



➤ 主力の住宅ローンを中心に残高を伸ばし、貸出金残高は前年同期比13%増。

運用資産残高

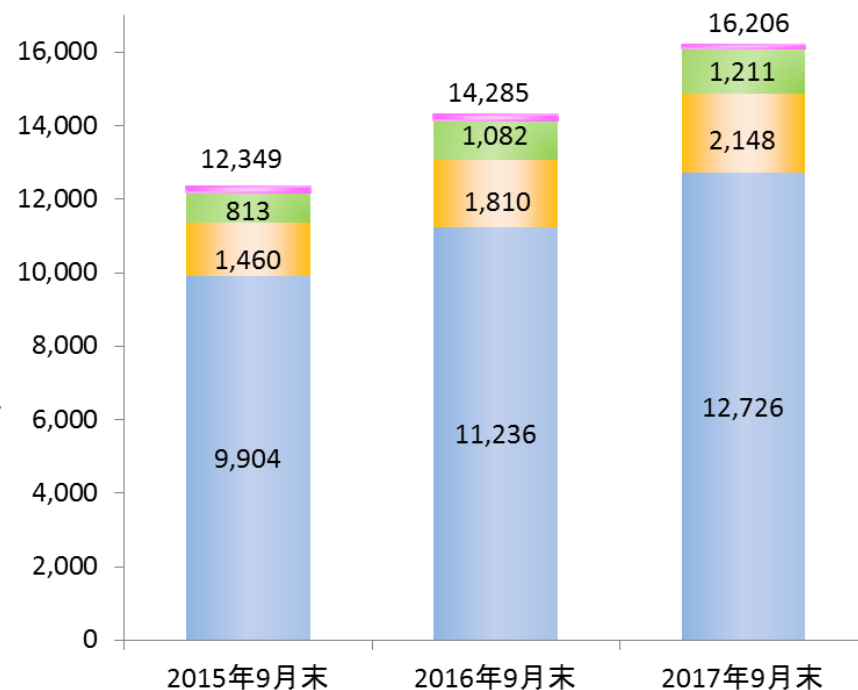
(単位:億円)



貸出金残高

(単位:億円)

■ 住宅ローン ■ 法人向け ■ カードローン ■ その他

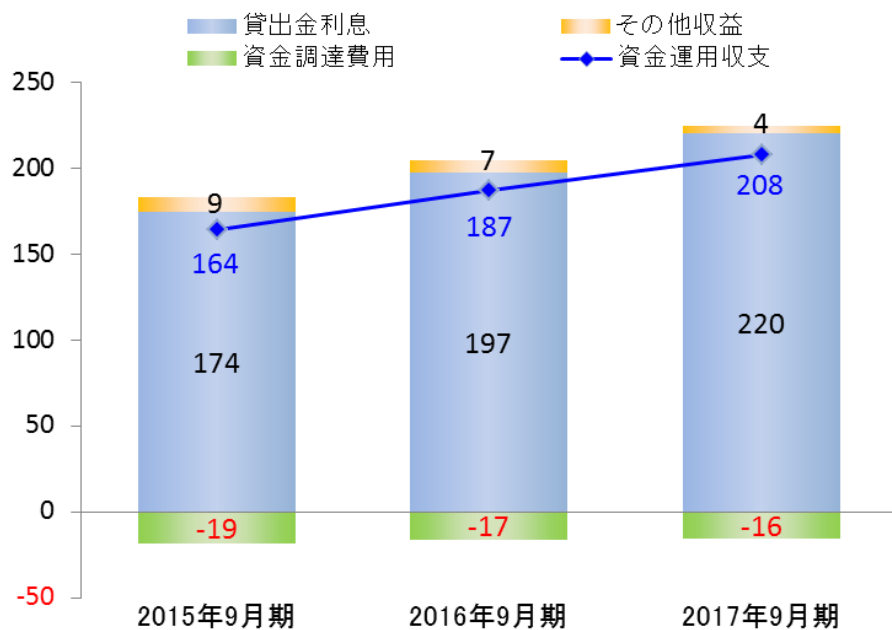


資金運用の状況

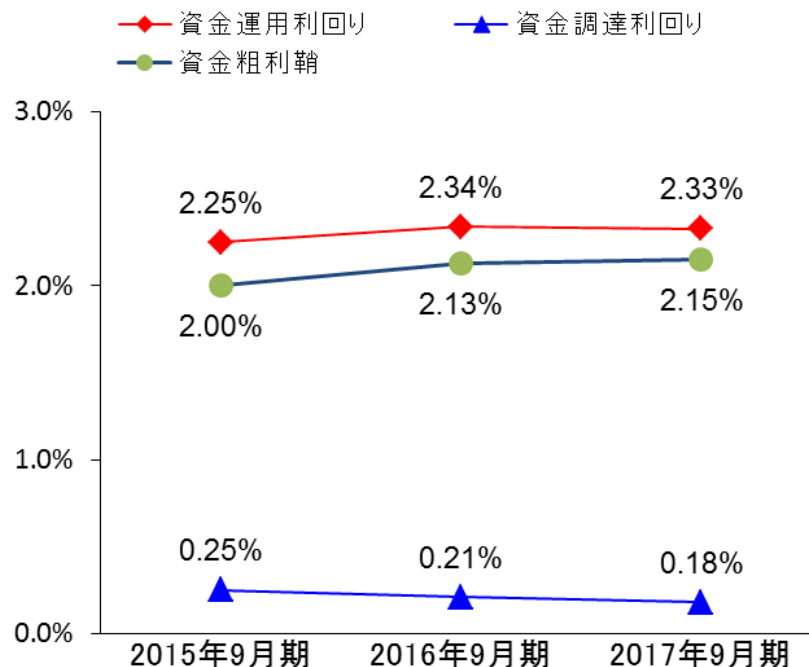
- 貸出金の伸長に伴い、資金運用収支は前年同期比11%増。
- 金利低下が続く中、資金粗利鞘は引き続き堅調に推移。

資金運用収支

(単位:億円)



資金粗利鞘・利回り



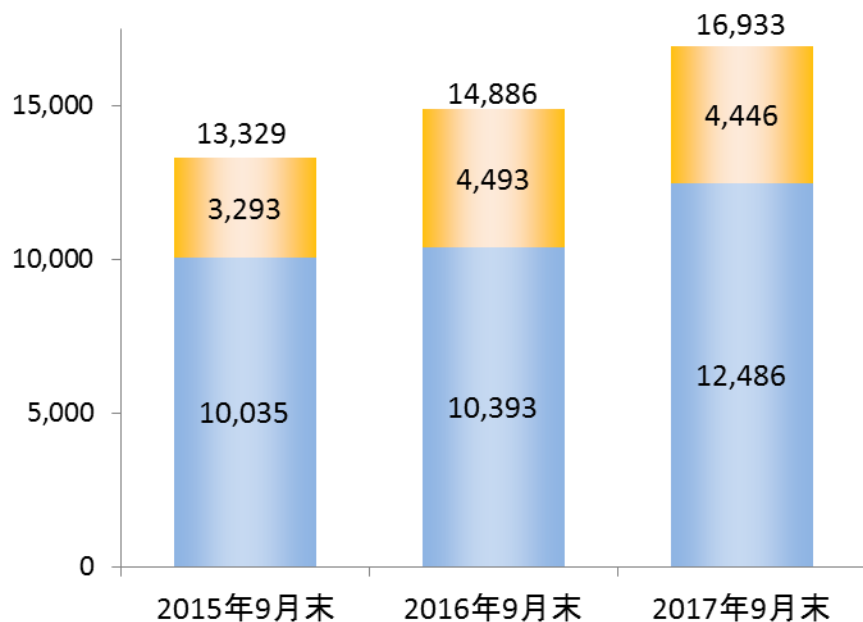
預金の状況

- 残高は、個人預金を中心に前年同期比14%増。
- 預貸率は引き続き高水準を維持。

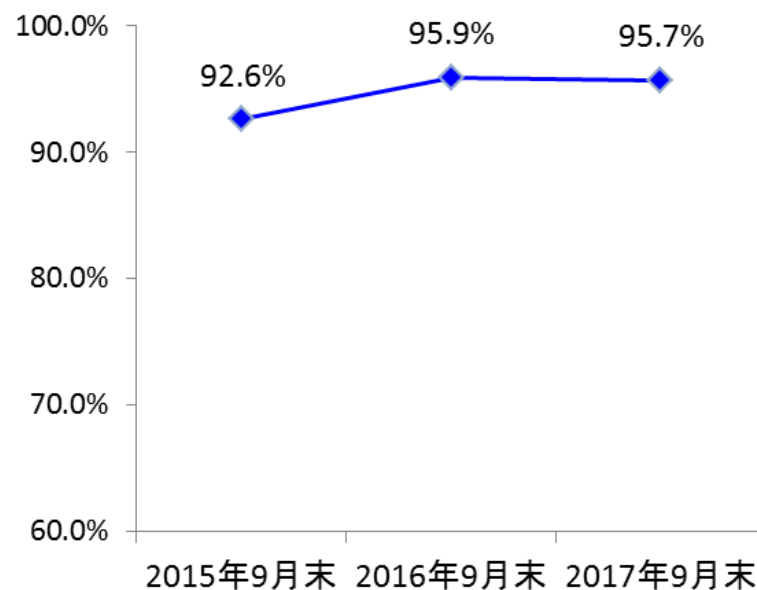
預金残高

(単位: 億円)

■ 個人 ■ 法人(NCD含む)



預貸率

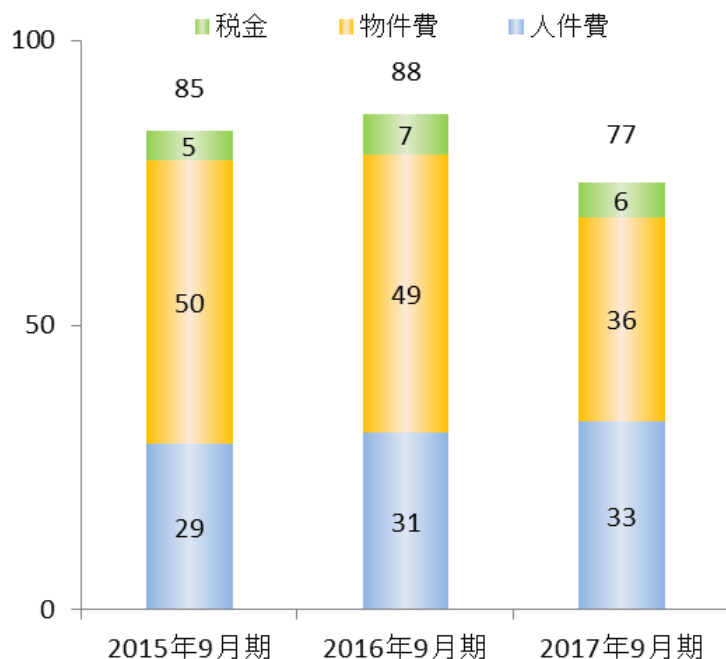


営業経費と経费率

- 業容を拡大しつつ営業経費を抑制。広告宣伝費の減少が主要因。
- 経费率は前年同期比11ポイント低下。

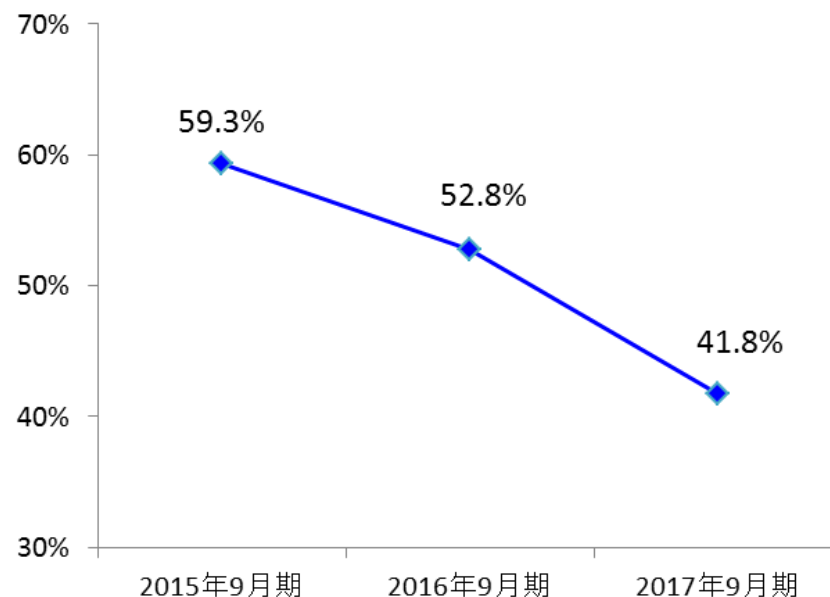
営業経費

(単位:億円)



経费率

※経费率 = 営業経費 ÷ 業務粗利益

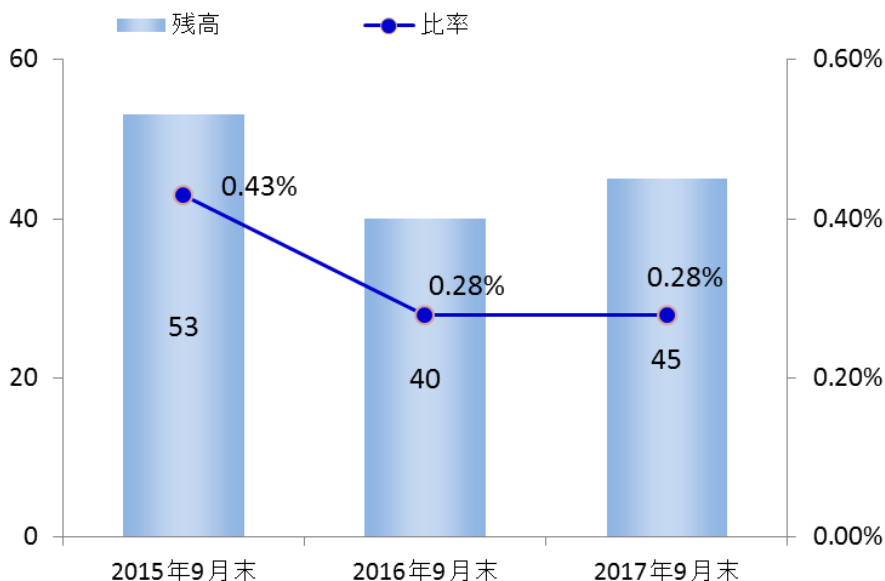


リスク管理債権(不良債権)の状況

- リスク管理債権比率は引続き低位安定。
- 貸出金の増加に伴いリスク管理債権残高は増加。
- 与信関連費用は前年同期並みの低水準で推移。

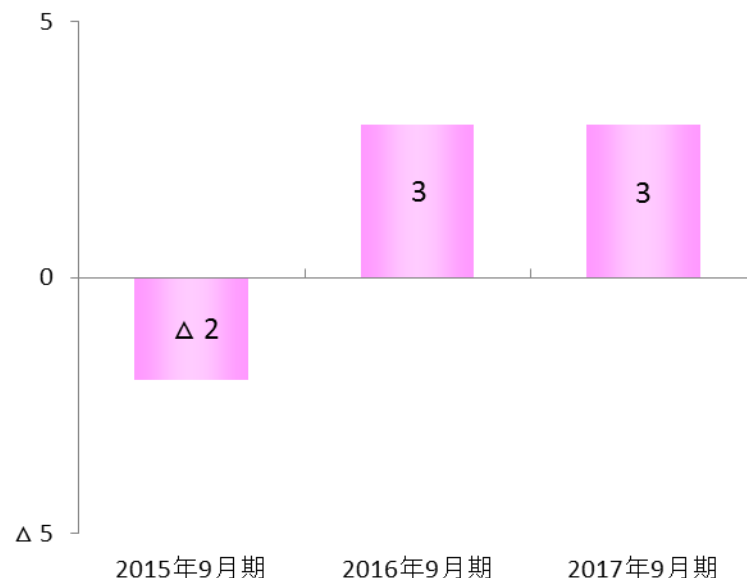
リスク管理債権残高・同比率

(単位:億円)



与信関連費用

※償却債権取立益を含む / △符号は戻り益 (単位:億円)



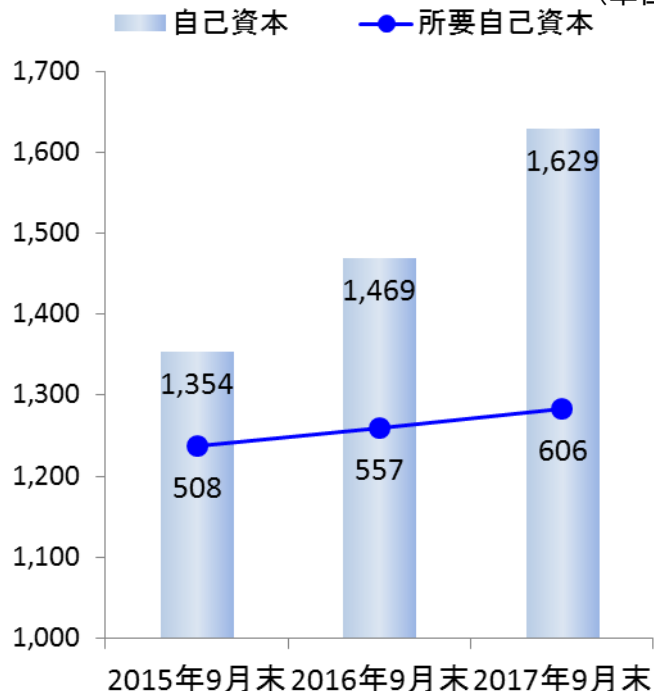
自己資本の状況

- 自己資本額は前年同期比11%増。自己資本比率は健全な水準で推移。

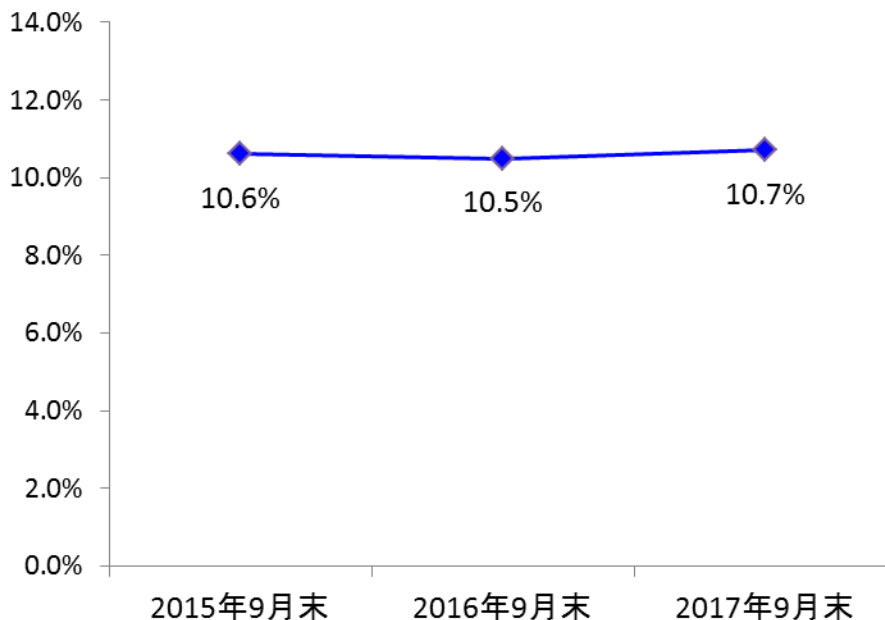
自己資本・所要自己資本

※所要自己資本は国内基準行の最低比率4%で算出

(単位: 億円)



自己資本比率



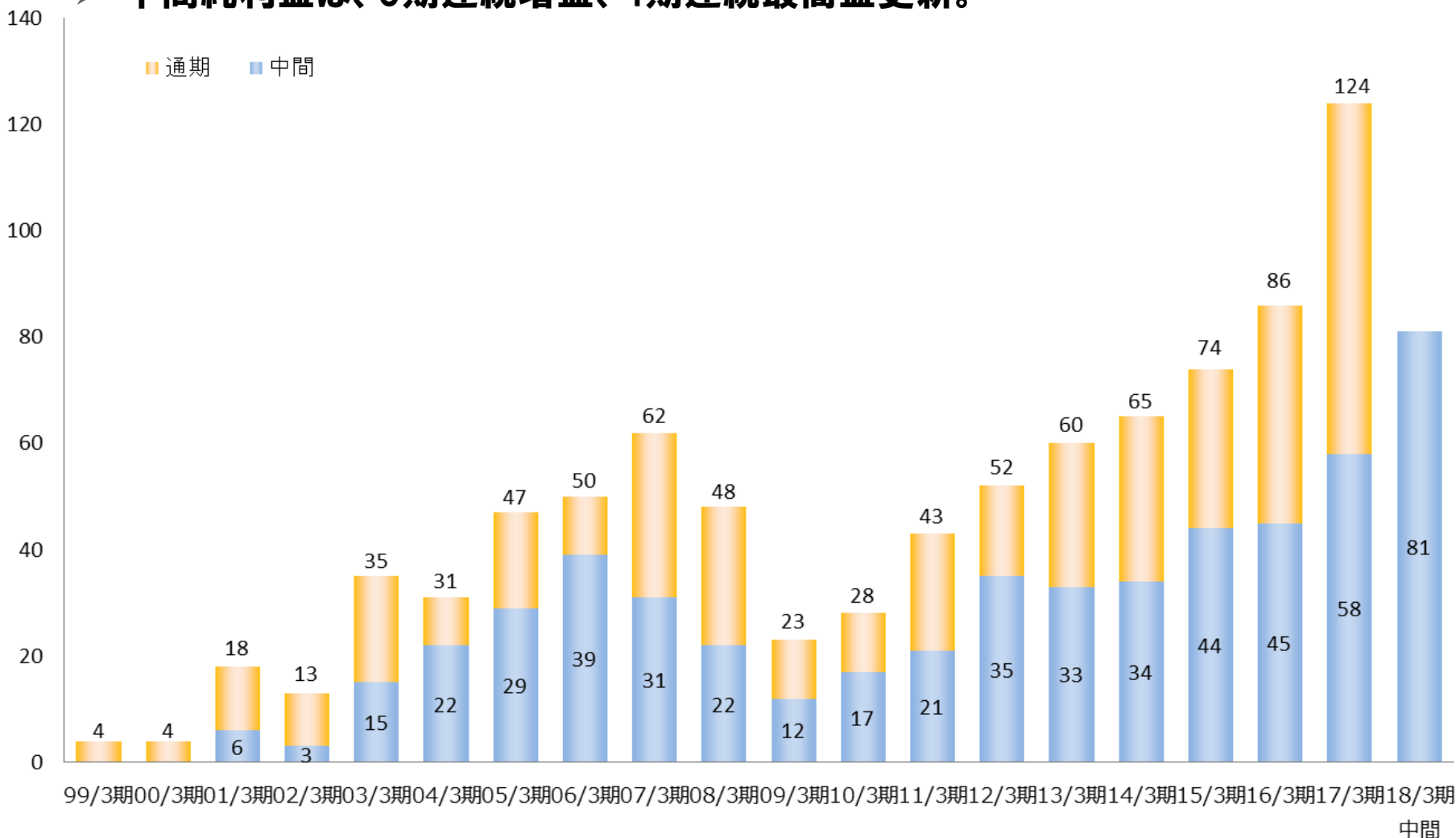
補足資料

補足資料(1) 当期純利益の推移



(単位:億円)

➤ 中間純利益は、5期連続増益、4期連続最高益更新。



補足資料(2) リスク管理債権(不良債権)の状況



(単位: 億円)

➤ 適切な与信判断と途上管理により、リスク管理債権は低水準を維持。

リスク管理債権残高

	2015年9月末	2016年9月末	2017年9月末	前年同期比
破綻先債権	0	1	0	0
延滞債権	44	32	43	11
3ヵ月以上延滞債権	-	-	-	-
貸出条件緩和債権	7	5	0	△ 5
残高	53	40	45	5

金融再生法ベース開示債権残高

	2015年9月末	2016年9月末	2017年9月末	前年同期比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	14	20	20	0
危険債権	32	14	24	10
要管理債権	7	5	0	△ 5
正常債権	12,406	14,455	16,418	1,962
合計	12,461	14,495	16,463	1,968

※上記は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」に基づいています。

- 商号 オリックス銀行株式会社
(ORIX Bank Corporation)
- 本店所在地 東京都港区芝3-22-8 オリックス乾ビル
- 代表取締役社長 浦田 晴之
- 設立 1993年8月23日
- 資本金 450億円
- 株主 オリックス株式会社(100%)
- 従業員数 599名
- 長期格付 「A+」(R&I)、「A-」(S&P)
- 拠点 東京・大阪・福岡・立川・沖縄(コールセンター)